



2016・4・1

第 234 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

戦争法施行に抗議 廃止の世論さらに大きく

2000 万署名広げ反撃へ

戦争法が施行された 3 月 29 日、全国で抗議の行動が展開されました。

【静岡県／静岡市憲法九条の会連絡会等】 29 日昼、静岡市憲法九条の会連絡会と静岡県憲法共同センターが静岡市葵区青葉公園前で戦争法廃止 2000 万署名宣伝を行いました。約 50 人が参加し「取りもどそう民主主義 立憲主義」と書かれたプラカードを掲げ、怒りのアピールとともに署名を呼びかけると、多くの通行人が注目し、1 時間で 116 人分の署名を集まりました。

昼休み中を通りがかり署名した男性 (56) は、「これまで自民党政府が集団的自衛権は憲法違反だとしてきたことを安倍政権だけで変えてしまったことは、どう考えてもおかしい」と語りました。クラブ活動帰りに署名した中学生 3 人組は、「自分も死にたくないし、人も殺したくない。みんな未来があるだから戦争はよくない」と話しました。

このほか、「体験者として戦争反対の運前は涙が出る。頑張ってください」(90 歳男性) 「安倍さんは不気味で、不安です」(若い女性) と署名する姿がありました。

九条の会連絡会の松永昌治・事務局長、

九条の会事務局学習会 戦争法の廃止をめざして

－立憲主義の回復か安倍改憲か

◇日時：5 月 27 日 (金) 18 時 30 分～

◇会場：文京区民センター 3A 会議室

報告 1 「憲法 9 条と立憲主義」 山内敏弘・一橋大学名誉教授

報告 2 「戦争法から明文改憲へ－安倍改憲のねらいと矛盾」 渡辺治・一橋大学名誉教授

◇参加費 一般 1,000 円 学生 500 円 高校生無料

* 事前申し込みは不要です

林克・憲法共同センター代表などが交代でマイクを握り訴えました。

「19 日行動」も全国各地で

戦争法成立が強行された昨年 9 月 19 日を忘れまいと、「19 日行動」も各地でおこなわれています。

【愛媛県今治市／9 条の会・今治】 今治で 3 月 19 日、野党 4 党と、9 条の会・今治、今治各界連、「戦争 (安保法) 廃止! ・Net ・今治が共同して宣伝しました。30

人が参加し、野党統一候補を擁立し、戦争法を廃止する決意を訴えました。

社民党の村上要県議は「戦争で民間船1万5000隻が撃沈、船員6万5000人が命を失った」として、自衛隊が民間船を借り上げ、船員を予備自衛官にしようとしていると批判。共産党の山本五郎市議は「憲法は2度と戦争を起こさないとの誓いからできた。統一候補を出し、一緒に頑張ろう」と呼びかけました。

【福岡県筑後市、朝倉市／9条の会等】

福岡県内の筑後市、朝倉市等で19日、戦争法の廃止をめざす集会等が行われました。

筑後市では「戦争法の廃止へ筑後地域でも意思表示を！」「ちっこ9条の会」など5つの市民団体が主催する集会が160人の参加で久留米市で開かれました。民主党、共産党、社民党の代表が決意表明しました。

朝倉市では19日、「9条10万人の会・あさくら」や朝倉9条の会などでつくる「朝倉から戦争法の廃止を求める市民集会実行委員会」が「戦争法は廃止！」などの横断幕を掲げ、5回目のスタンディングを行いました。朝倉9条の会が担当した市内県道の交差点には、小雨の中、5人が参加しました。

この日はクラクションや運転席からこれまでで一番多い10人を超える声援がありました。

文化で戦争法廃止を発信

【神奈川県川崎市／かわさき九条の会】

全国各地で広がる戦争法廃止の運動への連帯を文化の発信で表現しようと19日、かわさき九条の会（城谷護代表）は川崎市中原

区で結成10周年を記念したつどいを開き、230人が参加しました。

「平和トーク」と題した第1部では、青年、母親、福島原発事故避難者、沖縄新基地建設反対運動の各分野の代表が報告。原発事故で郡山市から都内に自主避難した星ひかりさんは、自主避難者への数少ない支援策を打ち切ろうとする一方、原発再稼働に固執する政府の姿勢に対し、自作の詩の紹介を交え批判しました。

SEALDsのメンバーで川崎市に住む長谷川唯さんは、秘密保護法反対を機に国会前デモの取り組みに参加した経験を振り返り、「つねに政治を監視する市民の立場で、参院選で戦争法廃止の野党共闘を盛り上げたい」と語りました。

第2部の文化行事では、参加者が戦争法を題材とした腹話術や平和を願う合唱などを披露しました。

結成11周年で決意新たに

【埼玉県草加市／九条の会・草加】

2月28日（日）「九条の会・草加」結成11周年記念行事を行いました。

前半は総会で、この1年間に行われた各種行事の経過報告。会員の加納正一さんが①新聞の発行②入会者の拡大③財政④昨年11月から始まった「近現代史学習会」の状況⑤憲法改悪反対の署名活動⑥世話人会議⑦駅頭宣伝活動およびオール草加総行動などについて報告。

続いて山口敏子さんが、今年度の取り組みについて、①世話人会の活性化②引き続き新聞の発行、③入会者の拡大④学習会をさらに活発化させる⑤9の日の駅頭宣伝活

動の継続⑥「戦争法反対」の2000万人署名活動(草加は2000人)⑦市内の各種団体との協力などについて提案。新年度の世話人[23人]紹介も行われました。

引き続き、会場からたくさんの皆さんが、自分たちがやっている活動の紹介、「九条の会・草加」に対する質問、意見、学習会の具体的内容、本や演劇などの紹介、署名活動の要請など、予定時間をオーバーする活発な意見交換がおこなわれました。

休憩をはさんで、琉球新報社東京支社報道部長の島洋子さんの「沖縄の未来は日本の未来」と題して講演があり、今、辺野古で何か行われ、何か問題になっているのか、政府はこの問題にどのようにかかわっているのかなどについて報告しました。(「九条の会・草加」第120号)

元自衛官の話に納得

【和歌山県串本町／くしもと9条の会】

「くしもと9条の会」は3月20日、元自衛官の泥憲和氏を招いた講演会を串本町で開き40人が参加しました。

泥氏は「日本を守るためなら納得できる。なぜアメリカの利益のために危ないまねをしなければいけないのか」と自衛官たちの気持ちを代弁し「安保法制は国を守る法律ではない」と断言。フィリピンのミンダナオ島で長年続いた内戦ではJICA(国際協力機構)の農業支援や学校建設が内戦終結に結びついたことを紹介し「政府は軍隊を送らないと評価されないと言いつつきたが、軍隊を送らずに平和支援をしたから信用された」と語りました。

一軒一軒で対話し署名訴え

【山梨県北杜市／】 県最北部の北杜市で「戦争法の廃止を求める2000万署名」が有権者数(約4万1000人)の2割を超えました。8町村が合併して10年がたつ同市で、昨年12月、地域の9条の会など17団体と個人が「戦争法廃止を求めるオール北杜」を結成。全戸訪問による署名集めを呼びかけ、署名数を集約し、経験を交流してきました。県内野党各党に「選挙で共闘を」と直接の要請もしてきました。

有権者の2割、1657人分を集めた長坂町では、署名用紙と独自の「協力お願い」チラシを全戸に配布。今村一子さん(68)は「後日訪ねた家で、おじいさんが険しい顔で出て来たので『だめかな』と思ったら、奥からおばあちゃんが家族分5人の署名を持ってきてくれました」と話します。

「武川・白州9条の会」では、町内5カ所に「署名ポスト」を依頼。「現職の保守系市議がポストを置かせてくれ、それまでためらっていた人が『議員さんも協力しているなら』と署名してくれました」と喜ぶ平野千賀さん(72)。「各戸訪問すると、戦争を体験している高齢の方たちから『家に来てくれるので署名できる』と喜ばれる」といいます。

結成時80人だった「オール北杜」賛同者は、3月には519人に。20人の市議会議員のうち、8人が賛同者に名を連ねています。

23日の世話人会では「一軒一軒を訪ねて訴えるのは初めてだけど、たくさんの署名を集めるにはこれしかない」「地域を回れば、まだまだ集まるね」と発言が続きました。